

会議の名称	第8回飯能市地域公共交通対策協議会
開催日時	平成31年1月11日(金) 開会 午後1時30分 閉会 午後2時40分
開催場所	飯能市役所 本庁舎5階 第1・第2委員会室
会長氏名	飯能市副市長 上 良二
出席委員	上 良二、中村 浩幸、堀米 康史、松原 緑、山本 道夫、 和田 毅、本橋 実、石井 英子、浅見 浩士、細田 幸二、 小柳謙太郎、中川 淳、大野 康、大野 悟、畦地 英樹、 梶山 吉之、島田 茂、平野 功 (関根委員代理：宮迫 智昭)、(今井委員代理：伊藤 幸一)
欠席委員	吉田 樹、鶴岡 洋、長田裕太郎、原 清、浅見 豊樹、 渡辺 正幸、岡安 和幸、古島 照夫、新井洋一郎
説明者の職氏名	飯能市市民生活部長 坂本 実 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室室長 佐野 敬子 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室主任 井戸入大輝
傍聴者の数	1名
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	飯能市市民生活部長 坂本 実 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室室長 佐野 敬子 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室主任 井戸入大輝

## 第 8 回飯能市地域公共交通対策協議会 会議録

(1) 本協議会の第 8 回目の開催にあたり、事務局長から開会が宣せられたのち、以下のとおり報告等をした。

①欠席委員、代理出席等の報告：事務局長から報告をした。

②協議会の公開、傍聴者参加（1 名）の報告：事務局長から報告をした。

③会長挨拶：会長（上副市長）から開会に際し、挨拶をした。

当協議会の中での大きな議論であったメツツア事業について、事業者も私共も非常にうれしい状況である。前回の協議会において、公共交通空白地有償運送「奥武蔵らくらく交通」について、埼玉県知事から、埼玉県第 1 号という登録をいただき、12 月 9 日に出発式を行った。市としては、メツツアの繁栄が目標ではなく、最終的には市民一人ひとりが飯能に住んでよかったと思えることが目標である。現在は、メツツアでの来訪者をいかにして中心市街地に誘導するかについて議論しているところである。皆様に大いにご指導いただき、本当の意味の飯能市の活性化が図れますようお願いするところである。

(2) 国際興業バス飯 07、飯 11 系統の経路変更等について

事務局から、以下の資料に基づき説明した。

①市道整備に伴うバス路線の変更（資料 1、別紙）

運行主体（国際興業株式会社）より事業内容を補足説明した。

内容は了承されたが、委員等から以下のとおりご質問、ご意見等があった。

委員：伺いたい点が 3 点ある。1 点目は、いつごろから運行開始を予定しているか等スケジュールを教えてください。2 点目は、「大河原」停留所の移設で廃止される停留所について、周辺の住民の方々から問題等はあがっていないのか。3 点目は、経路変更される飯 07 系統について、周知活動などを行っているか。

事務局：2 点目の「大河原」停留所の移設については、近隣の住民の方への説明はまだ行っていない。もともとあった道路の形状が変わるため、新しい道路を通った方が安全面を確保できる。「大河原」バス停の廃止に関しては、経路変更が進行した段階で説明に行きたいと思う。1 点目と 3 点目については、国際興業様よりご説明をいただきたい。

委員：運行開始の時期に関しては、道路が供用開始になってから開始日を決めることとなる。ある程度、期間を設けて周知をする。新設される 1 か所の停留所が「天覧山下」になり、既存の「天覧山下」停留所が名称変更されるため、混乱を回避する必要がある。設置工事に関しては飯能市と調整の上、進めている。運行開始

日の数日前に停留所を設置する。埼玉飯能病院の運行時間について、弊社で把握している状況からいうと、埼玉飯能病院は通院客がいないようなので、毎日、不特定多数の人が来るという状況ではないようであるが、状況によっては病院に時刻表を置くなどの対応を飯能市と調整しながら進めさせていただければと思う。

委員：いつ頃から運行するかという目標はあるか。

委員：今のところ、年度内の3月か、翌4月くらいとなると考える。なるべく早く運行開始できるように努めたい。

会長：私の方から多少補足をさせていただく。新路線については、議会でも飯能西中学校、飯能第一小学校の児童・生徒の通学の際のメリットになると言われてきた。委員の答弁にもあったように、公共施設も多くあるため、市民の利便性が向上すると考えられる。我々も期待しているところであり、国際興業さんの決定については、非常にありがたいと思っている。飯能大河原線について、大河原地区、本郷地区の皆様のご協力をいただいて、開通を待っている状況である。自治会長方にも色々な面でご尽力いただいている。周知については、頃合いを見て、自治会長を通じて住民の皆様に周知をさせていただければと思う。

会長：国際興業バス飯07、飯11系統の経路変更に伴う運行経路及び運賃につきまして、本協議会での承認が必要となる。他に意見がなければ、承認するという事によろしいか。

委員：(異議なし)

### (3) 公共交通の利用促進事業について

事務局から、以下の資料に基づき説明した。

#### ①公共交通の利用促進事業について(資料2、別紙)

内容は了承されたが、委員等から以下のとおりご質問、ご意見等があった。

委員：要望として、冒頭のあいさつにあったとおり、メツァが3月にグランドオープンし、たくさんのお客が飯能市を訪れると予測される。飯能市の観光ビジョンによると240万人の人が訪れているところを2倍の480万人、ムーミンバレーパークについては、100万人の来場を目指しているとあった。このうちの数%でも、ムーミンバレーパークだけでなく、名栗方面に周遊していただけるようになると良い。メツァの後、そのまま帰すのではなく名栗方面に寄ってもらう取組を進めていただきたい。その点で、駅周辺の案内について、路線図を見ると改善の余地がある。外国人来訪者等を含め、初めて来た方が見ただけで分かるようにしていただければと思う。

会長：現在、名栗地区を使った誘客について、市の関係各課でも熱心に議論している

ところである。市長がよくあいさつに使っている「メツァだけではない」という言葉がある。本格的な自然を体感できる、数少ない首都圏の魅力ある場所として名栗を売り出す方策を考えている。昨年末、名栗の観光に係る皆様にお集まりいただき、意見交換会を実施した。その中で、名栗地区の活性化は極めて重要であり、それが即、路線バスの利用客増加にもつながる。そのような取組を積極的に展開していく。具体的な方法については、今後期待していただきたい。それに伴って、外国語の問題については、商工会議所の皆様の協力などを頂きながら積極的な対応をさせていただければと思う。

#### (4) その他

事務局より2点報告する。

##### ①自家用有償運送「奥武蔵らくらく交通」出発式について

⇒前回の協議会にあった、「奥武蔵らくらく交通」の出発式が昨年12月9日に行われた。

##### ②吾野小学校スクールバス混乗制度実証実験について

⇒実証実験の経過報告、来年度以降の運行についても検討を行う。

会 長 : 交通事業者の皆様から現在進めている取組や状況について報告いただきたい。

委 員 : 名栗地区に関連して、弊社のバスの路線図の中に、飯能市の特集ページを作成した。今年の春に路線図の見直しを考えている。外国人来訪者の受け入れに関して、昨年度、バス車内の案内を4か国語表記に変更した。外国人来訪者がどの地域に行っているかが分からないため、市や観光協会から情報提供いただければ、バス会社として何かできることがないか検討していきたいと思う。

委 員 : メツァがオープンしたことは、西武グループの中でも集客のチャンスであると考えている。3月にムーミンバレーパークができるため、さらなる集客のチャンスとして、飯能市の活性化に貢献したい。利用促進について、自社のバスの路線ごとに色を付けるようにしており、路線の色がバスの方向幕と同じになっているため、初めて利用される方にも一目で分かるように取り組んでいる。

委 員 : メツァの輸送を11月から開始している。メツァへの輸送において、既存の生活路線に遅延が発生しているため、3月に向けて運行最適化ができるように準備を整えたい。また、メツァの開設に合わせて、ノンステップバスを整備した。外国からのお客様も多いため、停留所までの案内、市内の案内についても関係各所と協力して進めていきたい。新年度には学生へのバス利用の促進について、ホームページ等での案内を効果的に行ってきたい。

会 長 : その他委員の皆様からも公共交通の利用促進やその他の移動手段などに関して意見ををお願いします。

委員：3点話したい。

1点目、飯能市の「第3次ふくしの森プラン」の策定に関する説明

2点目、シニアサポートセミナーに関する紹介

3点目、「原市場地区公共交通を守る会」による利用促進事業に関する紹介

(5) 閉会